



橋北中学校だより

令和5年7月20日(木)

第4号 文責:奥田
津市立橋北中学校

より良い2学期を迎えるために



4月6日の始業式から数えて72日間の1学期が終わろうとしています。みなさんにとってどんな1学期だったでしょうか。いろんな場面で話してきましたが、昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで橋北中学校がつなげてきた活動を中止したり、規模を縮小したりして行ってきました。しかし今年度は感染対策を行いながらも、これまでに近い形での活動に戻すことができてきました。何より、全校が一堂に集まったの活動が戻ってきました。修学旅行では仲間とふれあい、たくさんのお話をし、互いの良さや個性に気づくことができ、体育祭では3年生のすばらしい応援する姿を見て、1年

生、2年生が「自分たちも」と盛り上がることができました。コロナで途切れかけていた仲間や学年を超えた関係をつなぎなおす一年のいいスタートが切れたと思っています。

日頃の授業においてもそうです。ペアやグループでの活動が難しかった数年間でしたが、授業を参観に教室を訪れると、多くの授業で班の形になり、自分で考え、分からないところは班の人に聞いて、自分の学びを進めていく授業が行われていました。この日常が戻りつつあることに、私たちは本当によろこび、さらに2学期以降の活動を充実していければとこの4か月を振り返っているところです。

さて、みなさん、あらためて1学期はどうだったでしょうか。約40日間の夏休みを迎えるにあたり、1学期を振り返ってください。できるようになったこと、反対にできなかったことを振り返り、2学期にどうつなげていくかを考えてください。よかったことをさらに伸ばし、課題は克服できるよう方法を考え、実行しましょう。より良い2学期のスタートが切れるよう、充実した夏休みを過ごして欲しいと思います。もちろん、休養も大切ですし、何よりも健康・安全に毎日を過ごすことが大切です。健康管理、登下校の交通安全に十分留意して、みなさん、元気に2学期を迎えられるようにしてください。

保護者・地域のみなさまには、様々な機会においてご理解とご協力をいただいたこと、本当に感謝しております。引き続き、学校と家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに協力して教育活動を進めていけるよう、温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

中体連夏季総体はじまる



7月1日から、令和5年度の津市中体連夏季総合体育大会が開催されています。それに先立ち、6月28日には4年ぶりの全校が体育館に集まり、壮行会が行われました。

この3年生は入学時からコロナの影響で活動が制限され、対外試合も難しい時期がありました。また、大会も無観客であったり、選手のみでの参加であったりと、本当に厳しい状況の中で部活動を行ってきました。今年は多くの応援のもとで大会を開催することができます。悔いを残さないように、思いっきり競技してきて欲しいし、楽しんできて欲しいと思います。そして、1日でも長く活動できるよう、全力を尽くしてきて欲しいです。保護者の皆さんも、ぜひ生徒たちの輝く姿を会場でご覧いただければと思います。すでに大会が終了し、新たなチームでの一步を踏み出した部活もあります。先輩たちが残してくれた部の良き伝統をきちんと受け取り、引き継いでいってください。

◆◆◆各種大会等の結果◆◆◆

第2号で紹介したものを除く、終業式で表彰伝達を行った活動等の結果を紹介します。夏季大会等の結果については、次回の学校だよりでお届けします。

陸上部

第46回四日市カーニバル

走幅跳 第3位 末藤 琉新
走高跳 第4位 小林 怜生
100m 第3位 山本 絢菜
100mH 第4位 八太 ゆめ
走高跳 第4位 宇陀 和

女子卓球部

中勢地区卓球大会 敢闘賞
津市卓球選手権大会
敢闘賞 井出 有純

吹奏楽部

第35回中部日本個人・重奏コンテスト
本大会 銀賞 三浦 遙華

ソフトテニス部

津支部中学生新人選抜ソフトテニス大会

第3位 前田 梨央 中村 瑛太
第3位 出江理紗子 岡本 葉月

男子バスケットボール部

三重県選抜バスケットボール大会 第3位
優秀選手 山崎 蒼空 杉井愛之介

男子剣道部

第39回鳳凰旗争奪三重県中学校優勝剣道大会
男子団体 敢闘賞
女子団体 敢闘賞

その他活動

児童生徒のよい歯のコンクール
学校代表 今城 優衣

橋北中学校「慰霊の日」について

昭和30年(1955年)7月28日、橋北中学校の生徒が水泳訓練中に亡くなるという、痛ましい水難事故が起きました。当時は各校にプールがなく、橋北中は水泳訓練を近くの海で実施していました。全校生徒のうちの約400名の生徒と引率の教員20名が参加し訓練が行われましたが、訓練開始直後の午前10時ごろ突然発生した異常な波に、100名ほどの生徒が流され、36人の生徒の命が失われてしまうという悲しい事故となりました。事故の起こった海岸近くには、現在、犠牲となった方々を悼んで、「海の守り」という慰霊碑が建てられています。

毎年、7月28日を慰霊の日として、犠牲となった方々を悼み、生徒、保護者、教員の代表が参加し、慰霊祭を行っています。今年も生徒会役員、PTA本部役員の方が集まり、慰霊碑周辺の清掃と献花を行います。

慰霊の日を迎えるにあたり、あらためて命の大切さを考え、日々を大切に送っていきたくと思います。